

平成 18 年 1 月 11 日

6 号機制御棒におけるひびらしきものの調査状況について

定期検査中の 6 号機において、制御棒の動作を確認するための準備作業を実施していたところ、平成 18 年 1 月 9 日午後 8 時頃、制御棒 1 本の表面（2 箇所）にひびらしきものを確認いたしました。

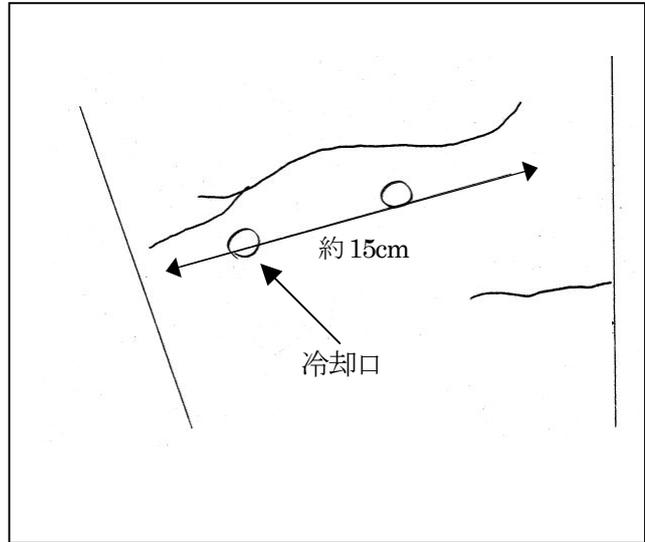
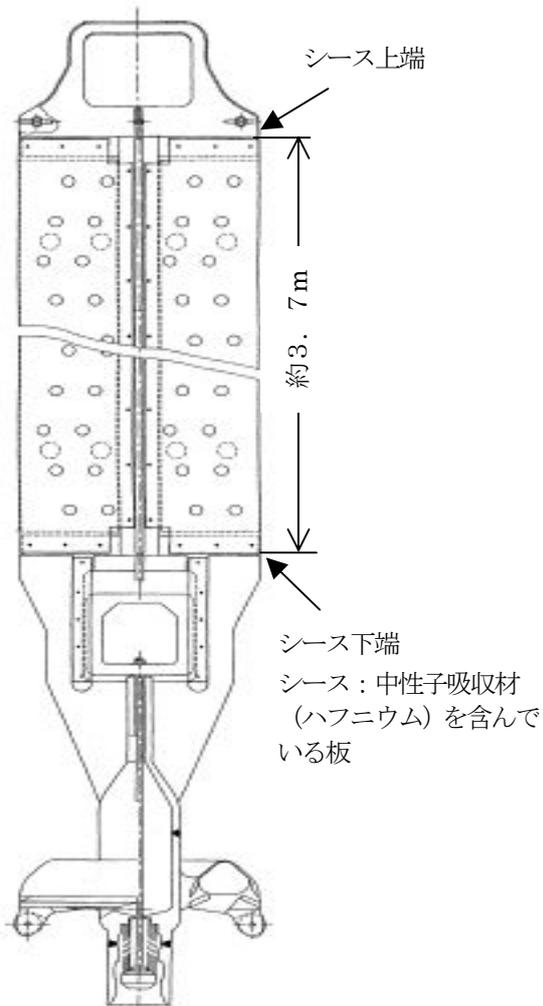
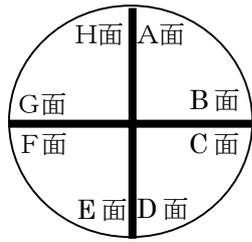
（平成 18 年 1 月 10 日お知らせ済み）

その後、当該制御棒を使用済燃料貯蔵プールへ移動し、水中テレビカメラにて外観確認を行ったところ、すでに確認済みのひびらしきもの（2 箇所）を含めて合計 23 箇所（41 本、最大長さ約 15 c m）のひび、および 1 箇所の破損を確認いたしました。

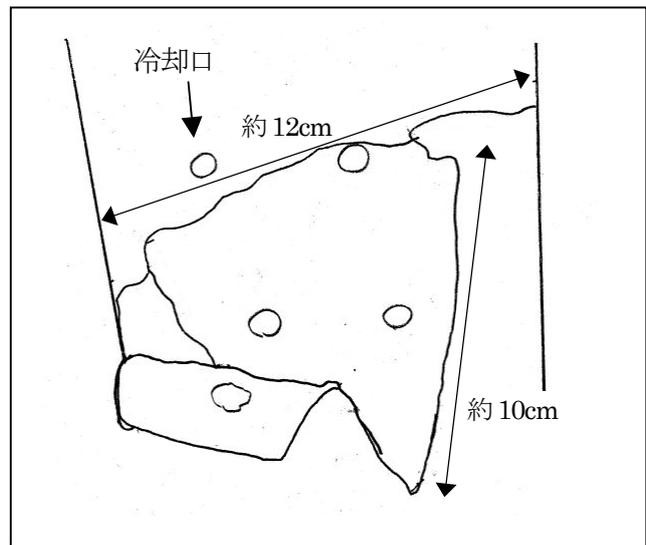
なお、今回確認された 1 箇所の破損については、現時点では、プラント停止後に実施した制御棒の動作確認において発生したものと推定しております。

今後、同一仕様の制御棒（16 本）の外観点検を行うとともに、引き続き原因調査を行います。

以 上



ひび状況図（最大のもの）
 (位置: F面 シース下端より約3.1m上方部)



プラント停止後に実施した制御棒の動作確認において発生したものと推定している破損の状況図
 (位置: E面 シース下端より約3.1m上方部)

ひびの発生状況

面	箇所数	本数
A	3	7
B	3	8
C	3	7
D	2	4
E	1 (1)	1 (1)
F	3	4
G	4	5
H	4	5
合計	23 (1)	41 (1)

() 内は破損箇所 (別掲) を示す。

6号機制御棒におけるひびの状況図